

長谷小路周辺遺跡出土の土師器・須恵器について

玉林美男・押木弘己

(文化財課 遺跡発掘調査研究員)

はじめに

今回紹介する資料は鎌倉市由比ガ浜三丁目 194 番 53 で行われた確認調査で出土した資料である。調査は令和 4 年 6 月 1 日～2 日にかけて行われ、調査面積は 6 m²であった。調査地は稲瀬川の左岸に位置し、東西方向に続く砂丘上に在る。江ノ島電鉄由比ヶ浜駅の北約 40m に位置し、市立由比ガ浜こどもセンターに隣接している。北西約 400m には甘縄神明社が祀られており、社伝によれば天平年間の勧請といい、『相州鎌倉郡神輿山甘縄寺神明宮縁起略』では和銅三(710)年八月、行基の草創という。染谷時忠が山上に神明宮、山下に円徳寺を立て、のち源頼義が相模守として下向した際、平直方の女を娶り、当社に祈願して八幡太郎義家を此地で産んだと伝える。社地南には染谷時忠第と伝える長者久保がある。この様に当該地周辺は古代からの伝承を伝えており、これを示すかのように、当該地周辺の発掘調査では図 1 に示すように古代の遺跡が多く確認されている。



図 1 頼朝入部時の鎌倉概念図 (地理院地図を改変)

★ 調査地 ▲ 甘縄神明社 ● 古代遺跡確認地点

1. 確認調査の成果

敷地南寄り中央に 2×3(m)の調査区を設定し、地表下 150 cmまで掘削を行った。地表下 100 cmまでは表土・近現代の造成土で、以下、150 cmまで中世以前の遺物を含む層が確認された。地表下 120 cm前後からは多量の土師器・須恵器が出土し、灰白色砂層を掘り込む遺構も検出された。この掘り込みの覆土

は褐色砂で土師器・須恵器・炭・泥岩塊・被熱痕のある礫が出土しており、土壇あるいは竪穴住居址と考えられる。

2. 出土遺物について（図2）

出土遺物に関する情報は、図2にまとめて提示した。

実測図化できたのは6点で、土師器の南武蔵型坏2点と須恵器の坏（碗）・皿4点である。土師器の坏についてはカウント・計量表が示すように、相模型よりも南武蔵型の方が多点が興味深い。1・2ともに底部外面の一部に静止糸切り痕を残し、その他は定方向のヘラケズリで再調整している。須恵器の坏類については胎土に骨芯化石を含む、南比企窯産と思しき製品が主体となる。5の坏は内底の復元径が6.6cmで、口径値に対する内底径は52.5%となる。鳩山Ⅶ期の法量比に近似し、その他の碗・皿も鳩山Ⅶ～Ⅷ期の特徴に近いものと判断できる。近年の年代観に照らすとⅦ期が835～860年頃、Ⅷ期が860～885年頃とされているので[服部ほか2011]、大よそ9世紀中葉～後葉に収まることが言えるだろう。在地産土師器の相模型坏がないため出土資料だけで年代観を絞り込むことは難しいが、平安前期の土器群が主体となることは指摘しておきたい。狭小な確認調査における出土量としては多く、遺存度の高い資料も一定量あるため、これらの土器を使用する空間が近在していたと推察できる。近隣の調査成果も勘案すると、竪穴建物を主体とする集落の一面と推測するのが妥当であろう。

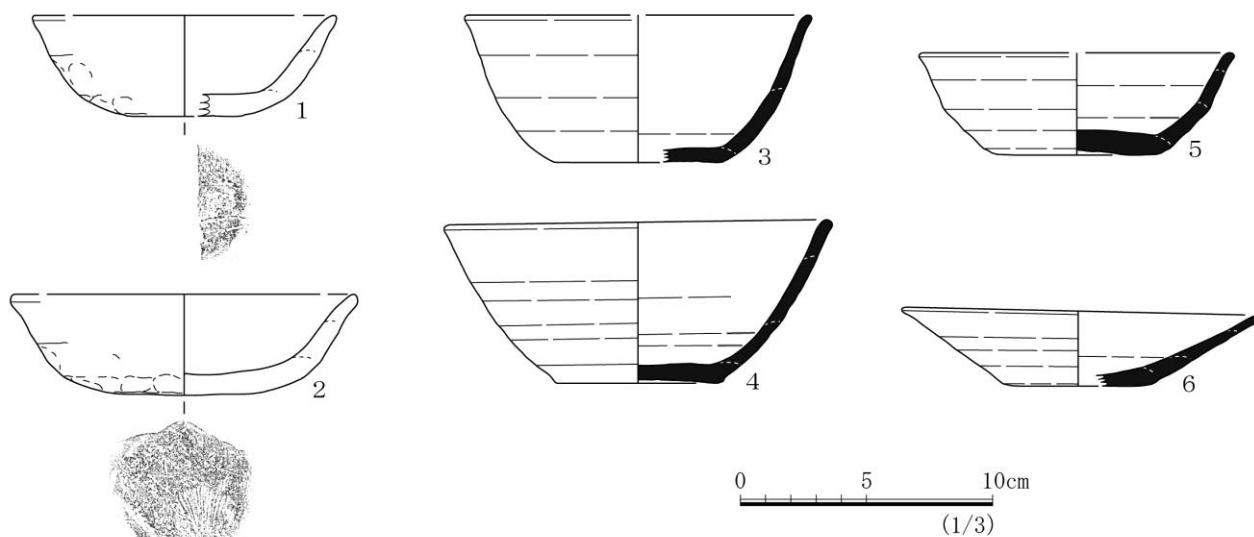
中世遺物も一定量が出土している。周辺では竪穴建物が繰り返し構築される空間であることが確認されているので、当地点もそれに近い様相であったことが想定できる。

参考文献（刊行順）

服部敬史・河合英夫・根本 靖・江口 桂・小野本敦 2011「南多摩窯跡群須恵器編年の暦年代検討」『八王子市史研究』創刊号 八王子市

古代の入間を考える会 2013『古代入間の土器と遺跡（Ⅱ）—須恵器坏の編年（9・10世紀）—』

古代の入間を考える会 2015『南比企窯と東金子窯（Ⅱ）—東金子窯の開窯と9世紀の編年—』



出土遺物

出土遺物観察表

() = 復元値 [] = 残存値

挿図 番号	種別	器種	残存率	法量 (cm)			重量 (g)	色調	産地・胎土・調整ほかの特徴
				口径	底径	器高			
1	土師器	坏	口わずか ～底 1/3	(11.8)	(4.6)	4.0	[47]	淡黄灰	南武蔵型 やや粗 外底静止糸切り後、定方向ヘラケズリ
2	土師器	坏	口わずか ～底 4/5	(13.4)	6.5	4.0	[90]	淡黄灰	南武蔵型 やや粗 外底静止糸切り後、定方向ヘラケズリ
3	須恵器	坏 (碗)	1/3	(13.4)	(6.6)	5.9	[97]	淡灰～ 淡赤灰	南比企窯産カ やや粗、骨芯化石・白色礫 外底右回転糸切り痕
4	須恵器	坏 (碗)	4/5	15.2	6.6	2.1	[216]	淡灰	南比企窯産カ やや粗、骨芯化石・白色礫 外底右回転糸切り痕
5	須恵器	坏	1/3	(12.0)	(6.6)	4.1	[73]	淡灰～ 淡赤灰	南比企窯産カ やや粗、骨芯化石・白色礫 外底右回転糸切り痕
6	須恵器	皿	2/3	14.2	5.9	3.2	[105]	淡灰	南比企窯産カ やや粗、骨芯化石・白色礫・黒色スコリア 外底右回転糸切り痕

出土遺物カウント・計量表

種別・ 産地等	器種	分類・ 編年	破片数	重量 (g)
土師器	坏	相模型	1	41
		扁平丸底	1	10
		南武蔵型	5	208
	甕	相模型カ	13	115
		三浦型	1	17
		三浦型カ	11	181
		武蔵型	35	233
須恵器	坏・碗	南比企窯カ	22	491
	皿	南比企窯カ	1	105
	坏蓋	南比企窯カ	1	8
	甕		1	14
ロクロかわらけ	大		33	178
	小		3	23
瀬戸	壺・瓶類		1	6
常滑	甕		11	585
渥美	甕		1	31
瓦質土器	火鉢		1	18
土器	不明・小片		33	70

種別・ 産地等	器種	分類・ 編年	破片数	重量 (g)
貝	アワビ		2	
	サザエ蓋		2	
	サザエ		4	
	アカニシ		2	
	ツメタガイ		2	
	バイ		5	
	キサゴ類		9	
	バテイラ		4	
	アサリ		4	
	チョウセンハマグリ		4	
	ハマグリ		7	
	未同定		3	
動物骨	未同定		1	
魚骨	未同定		1	
サンゴ			1	

図2 長谷小路周辺遺跡の出土遺物